

[横浜みなとみらいホール]
平成 25 年度業務計画及び収支予算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	西区みなとみらい二丁目3番6号
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上7階建て 大ホール(2020席、楽屋12室)、小ホール(440席、楽屋4室)、 リハーサル室(212㎡)、音楽練習室6室、レセプションルーム、事務室
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688㎡
開館日	平成10年5月31日(大ホール)、2月1日(小ホール)

2 指定管理者

団体名	(公財)横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通4-40 商工中金ビル5階
代表者	(公財)横浜市芸術文化振興財団 理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成24年4月1日から平成34年3月31日まで

3 基本方針

(1) 基本的な方針

第二期指定管理事業計画書に掲げた、豊かな「音楽社会」を拓くコンサートホールを実現するため、芸術文化の役割を最大限発揮し、「常時、世界の魅力ある多彩な音楽をだれもが楽しめ」、「次代における音楽と市民生活の関係を拓き」、「音楽社会を支える人材を輩出し、人材の循環を起こし」ながら「地域社会、市民生活への貢献」の実現を念頭に、提案内容を精査し、実行します。

(2) 平成 25 年度の位置づけ

『財団中期経営計画 2011 - 2013』の3年目にあたり、その基本施策を踏まえ、横浜みなとみらいホール「政策協働型指定管理10年」(H24-33年度)の中期第一期(H24-26年度)の2年目として、目標にかかげた「新たな長期目標に向けたアクション始動」に取り組みます。

【事業】

平成 25 年度は、音楽をテーマとした「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」が開催される他、横浜みなとみらいホール開館 15 周年の年でもあります。その注目される年の重要なコンテンツとして「芸術性」「発信性」「創造性」の高い事業を展開し、国内を代表するホールとしての存在を示しつつ、横浜アーツフェスティバル実行委員会事務局との密な連携により、横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業を成功に導きます。また第二期指定管理期間の音楽事業の考え方に示す通り、「子ども事業」や「街の音楽院」から派生した「市民プロデューサー企画」といった市民を巻き込んだ多様な事業を開催し、ホールを核にした市民と音楽の循環をつくり上げます。また、今後の国際交流やアジアへの発信等、国際的な視野に立った事業を開催するなど、地域の音楽振興を牽引しながらも、横浜から、より創造性・芸術性の高い事業を積極的に発信してまいります。

【運営】

お客さまのニーズに的確に応え、協働・連携の推進で施設の有効活用や利用促進に努めるとともに、協力公演の充実により、横浜みなとみらいホールのブランディングにつながる演奏会を開催します。加えて、予約システム更新を年度内に完了させます。

【広報】

グループの枠を超え横浜みなとみらいホール全体のプロモーションを計画的・戦略的に行います。また、チームの機動力とコミュニケーション力を活かし、ホール外その他団体との協働に更に注力して街の魅力と共にホールのブランド力も高めていきます。加えて、ファンドレイジングについても積極的に取り組んでいきます。

【総務】

安全・安心・快適な施設環境を維持するため、大規模修繕に関する協議を横浜市とともにおこない、計画の具体化に努めます。また、大規模震災等にそなえ日常的な意識の向上と訓練を引き続き重ねて参ります。

4 経営

(1) 施設機能の最大発揮と総合力ある経営について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>事業と施設運営の最適配分を考えた経営で、ホールの機能を最大限に発揮する</u></p> <p>広報チームを中心に両グループ横断的プロモーション活動を展開し、経営の強化に努めます。 また、「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」や「横浜みなとみらいホール 開館 15周年」を足がかりに、横浜みなとみらいホールが持つ機能を最大限発揮し、都市活性化に寄与し地域社会への貢献度を高めていきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>(ア) 組織内連携と経営強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 両グループ横断的プロモーション・セールス活動の実施 ● ファンドレイジング活動 <p><u>(イ) 財団全体での総合力発揮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」を足がかりに、財団事務局や他施設との連携を密にすると共に横断的企画を実施し、組織の総合力を発揮します。 <p><u>(ウ) 社会的協働・連携による取組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育機関や地元オーケストラ団体との更なる協働・連携に取り組めます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ チケットセールス始動。 □ MMccでの貸館セールス活動実施 (内覧会：1回、資料配布：2回) □ 企業協賛金獲得 1,450万円以上 (23年度実績：1,379万円) <p>■ 「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」開催にあたり、広報・協働部門を中心に財団事務局との連携を深めます。</p> <p>□ 音楽以外のジャンルの専門施設との連携企画、地域施設との連携企画を各1件以上実施。</p> <p>□ 教育機関等との協働・連携企画について、池辺館長を絡めた形も含め、5団体以上実施。</p> <p>□ 市内学校の職業体験3件以上受入れ。</p> <p>□ 地元オーケストラ団体との協働・連携企画を1件以上実施。</p> <p>■ グッズ販売に寄付のシステムを取り入れます。</p>

(2) 地域の活性化及び都市の魅力づくりの達成について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>観光振興や創造都市形成に向けた取り組みに協力し、魅力ある街づくりに努める</u></p> <p>周辺の商業施設、専門文化施設間の連携を一層強化し、来館者や来街者が「ホールのある街」を実感できるよう努めます。</p>
--

<p>[取組内容]</p> <p>(ア)「横浜文化中心」戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣住民への働きかけを行います。 ●近隣オフィスワーカーへの働きかけを行います。 <p>○連携文化施設連携事業の提供を行います。</p> <p>(イ)ビフォア・アフターコンベンション対応の 充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣施設等の情報を収集し、協力体制を強化します。 <p>(ウ)文化施設連携事業の展開</p> <p>○連携文化施設連携事業の提供を行います。</p> <p>(エ)商業連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣商業施設との連携を強化します。 <p>(オ)当日参加可能事業の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ツイッターで直前公演情報や当日券有無を発信 <p>(カ)パブリシティの強化</p> <p>※詳細は 6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □近隣マンションへ自治会への協力・情報提供の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会を通じてマンション内に設置したチラシラックのメンテナンス 毎月1回 ・秋まつり等イベントへの協力 年1回 ・西区役所を通じて区内転入者へチラシ配布 随時 □近隣企業の親睦団体への働きかけ・情報提供による街のにぎわい創出。 <ul style="list-style-type: none"> ・MMcc 世話人会への参加 毎月1回 □横浜美術館等他の専門施設との連携事業の提供 年2回以上 <ul style="list-style-type: none"> ■クイーンズ広報委員会への出席 毎月1回 イベント連絡会への出席 毎月1回 <ul style="list-style-type: none"> □横浜美術館等他の専門施設との連携事業の提供 年2回以上（再掲） <ul style="list-style-type: none"> □クイーンズスクエア等とのイベント協力 年2回 <ul style="list-style-type: none"> □ツイッターでの発信 年間100ツイート <p>※詳細は 6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>
---	--

5 事業

(1)多様な鑑賞機会を提供し音楽文化の裾野を広げるための取り組み

[目指す成果／アウトカム]

ア 世界的に評価の高い公演等、日本を代表するホールにふさわしい事業を充実させる

平成 25 年度の「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」は「音楽」がテーマとなることから、メイン会場の一つとして実行委員会と連携して「横浜芸術アクション事業」を盛り上げるとともに、世界的なオーケストラ公演を開催し、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。

イ 個性を発揮し、様々な人に継続して来館してもらえよう、創意工夫を凝らした公演等を提供する

国内を代表するコンサートホールとしての音響特性を最大限活かしつつ、音楽の発信基地としての位置付けの中で、多様な音楽ジャンルに触れていただける事業ラインナップを揃え、市民の多様なニーズに応えます。それによって、他ジャンルのファン層が来館するきっかけを作り、横浜みなとみらいホールの顧客層につなげます。また、定期的開催される低料金の事業シリーズを展開して、クラシック音楽鑑賞者層を戦略的に育てていきます。

当ホールに来場する、横浜市民をはじめとする来場者の方に、心躍る体験を提供していきます。

[取組内容]

ア 世界的に評価の高い公演

(ア)「横浜芸術アクション事業」として下記の事業を実施

- 「井上&サントペテルブルク響」
- 「小曽根真&ゲイリー・バートン」
- 「本名徹次&ベトナム国立響」
- 「インバル&都響」
- 「P ヤルヴィ&パリ管」
- 「招待ピアノ特別演奏会」
- 「ギルバート&ニューヨークフィル」
- 「A デイヴィス&BBC 響」
- 「熱帯 JAZZ 楽団」
- 「アンサンブル・ウィーン=ベルリン」

(イ)クラシックファンに喜ばれる自主イベントを企画実施

- 「NHK 交響楽団横浜定期演奏会」
- 「ジルヴェスターコンサート」
- 「ヴェーラ弦楽四重奏」
- 「ファインデュオ」
- 「オルガンリサイタル」

イ 創意工夫を凝らした公演

(ア)多様な音楽ジャンルのイベントを開催

- ジャズ「小曽根真&ゲイリー・バートン」

[達成指標]

(ア)

- 顧客満足度 80%以上
- 合計入場者数 16,000 人

(イ)

- 合計入場者数 4,700 人

- 5 公演の合計入場者数 5,300 人

<ul style="list-style-type: none"> ●ジャズ「熱帯 JAZZ 楽団」 ●ジャズ「横濱 JAZZ プロムナード」 ●邦楽「デーモン閣下の邦楽維新コラボレーション」 ●邦楽「邦楽ワークショップ」(WS2回) ●洋楽「ヤングアメリカンズイベント」 (公演1回、WS3日間) 	<p>3 ワークショップ 合計参加者数 300 人</p>
<p><u>(イ) これからの鑑賞者育成のため入門用事業として定期的に低料金コンサート(子ども向けの「おんがくひろば」は無料)を開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「オルガン1ドルコンサート」 年間8日開催 ●「みなとみらいクラシック・クルーズ」 年間6日開催 ●「みんな集まれ!おんがくひろば」 年間6日開催 	<p><input type="checkbox"/>合計入場者数 17,000 人</p>

(2) 新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点を形成するための取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p><u>ア 独自性の高い事業、国内外から注目を集めるものを企画制作する</u></p> <p>横浜みなとみらいホール独自の企画によって、新たな創造の場・創作拠点となり、国内外から注目を集めるホールになります。国内のホールにも企画を巡回させ、横浜みなとみらいホールの名を発信します。</p> <p><u>イ 「横浜芸術アクション事業」を本格実施する</u></p> <p>25年度の横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業は「音楽」をテーマとして取り上げることから、メイン会場の一つとして横浜アーツフェスティバル実行委員会と連携して事業を盛り上げるとともに、オリジナルオペラを創造していくことで、独自性を発揮、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 独自性の高い事業</u></p> <p><u>(ア) 横浜みなとみらいホール独自の小ホールオペラシリーズの開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「椿姫」と「てかがみ」 <p><u>(イ) 現代作曲家シリーズ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●若手作曲家を起用した「Just Composed 2014」 	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 600 人</p> <p><input type="checkbox"/>2公演にて若手歌手6人以上起用</p> <p><input type="checkbox"/>新曲委嘱1曲(*H23実績:1曲)</p>

<p>の開催</p> <p><u>(ウ)グレート・アーティスト・シリーズ</u></p> <p>●24年度より始まった同シリーズの2回目として伊福部昭をフィーチャーして多数の埋もれた名曲を発掘して発表します。関連イベントを多角的に開催し伊福部昭を多面的に紹介します。</p> <p><u>(エ)シネマ×パイプオルガン</u></p> <p>●映像と即興演奏とのコラボレーション企画「シネマ×パイプオルガン」を大佛次郎記念館の「大佛次郎没後40周年記念連携事業」と連携して開催します。</p> <p>○パイプオルガンを持つ他都市の文化施設と事業連携をします</p> <p><u>イ 「横浜芸術アクション事業」</u></p> <p><u>(ア)横浜オリジナルのオペラ事業「Yokohama Hands-on Opera Project」を実施します</u></p> <p>●Pヤルヴィ指揮「フィデリオ」 (ブレーメン音楽祭・ボン ベートーヴェン音楽祭・横浜みなとみらいホール共同制作公演)</p> <p>●「竹取物語」 沼尻竜介作曲新作委嘱作品</p> <p><u>(イ)「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」のオープニング事業等の開催に協力します</u></p>	<p>□入場者数 200 人(*H23 実績 : 254 人)</p> <p>□伊福部作品を 3 曲紹介</p> <p>□入場者数 1,000 人</p> <p>□入場者数 700 人(*H23 実績 : 590 人)</p> <p>□他都市連携施設 1 施設(*H23 実績 : 2 施設)</p> <p>□合計入場者数 4,000 人</p> <p>□オープニング事業 入場目標 満席</p>
---	--

(3)次代を担う芸術家、音楽と市民をつなぐ人材を育み、活動の機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p><u>ア 若い音楽家の育成や支援に取り組む</u></p> <p>若手の芸術家を鑑賞事業への出演や、体験型ワークショップ講師として起用し任せることで、日本の音楽芸術振興につながるような芸術家育成拠点となります。若手の演奏家としての活動支援とともに、普及啓発を担う人材としての成長を支援します。</p> <p><u>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成に取り組む</u></p> <p>市民が鑑賞行為以外のさまざまな形で音楽文化との関わりを通じ、積極的に芸術とコンタクトし</p>

合う気風を醸成し、音楽文化の定着をより強固にします。市民の方々が芸術家と市民をつなぐ「コーディネーター」となり、活躍する土壌を作ります。

[取組内容]

ア 若い音楽家の育成や支援

(ア)オペラ

- 5-(2)-ア-(ア) 参照、若手歌手を登用します。
- 若手歌手の中からアウトリーチ講師として学校に派遣します

(イ)現代作曲家シリーズ

- 5-(2)-ア-(イ) 参照、若手作曲家を登用します。
- 若手作曲家もしくは若手演奏家を起用して、事前にプレトーク+ワークショップを開催

(ウ)みんな集まれ！おんがくひろば

- 5-(1)-イ-(イ) 参照、若手の演奏家を登用します。

(エ)邦楽ワークショップ

- 5-(1)-イ-(ア) 参照、邦楽奏者のワークショップを開催します

イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成

(ア)「コンサートを作ろう」企画修了生による協力イベント開催

(イ)コンサートを企画したい一般市民を募集して講義をスタートさせます。

- 「コンサートを作ろう 2期生」募集

(ウ)音楽大学との連携事業の継続を通じ、大学生が地域での活動に資する提携の在り方を探ります。

- 音楽大学リレーションシッププログラム

(エ)NPO 法人と提携し、より地域の市民の方々

[達成指標]

- 若手歌手 6人以上起用
- アウトリーチ実施学校 2校
- 新曲委嘱 1曲
- 入場者数 200人
- プレトーク+ワークショップ 1回実施
- 若手の演奏家を 6人登用
- 合計入場者数 1,000人
- 2回実施
- 3企画実施(*H23実績:3企画)
- 合計入場者数 210人(*H23実績:235人)
- 顧客満足度 80%以上
- 申込み人数 20人
- 提携大学数 4大学

<p><u>の目線に立った企画立案に励みます。</u></p> <p>●NPO 法人との連携事業</p> <p><u>(オ)オルガン</u></p> <p>●1 年かけてプロのオルガニストを育てるインターン制度を設けます。</p> <p>●オルガニスト・インターン経験者の演奏会での起用</p>	<p>□提携 NPO 法人数 5 団体</p> <p>□オルガニスト・インターン 1 名の育成 (*H23 実績 : 1 名)</p> <p>□演奏会起用 2 名</p>
---	---

(4) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験する機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>・子ども対象の、音楽による創造活動体験の企画を施設内外で提供する。また、障がいのある子どもや介護を必要とする子どもなどへの取り組みも行う</p> <p>横浜みなとみらいホールで 15 年かけて最も力を入れてきた子ども対象事業について、今後 10 年の展開も視野に入れて、事業を再編しつつ、活性化させていきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>(ア)季節ごとに子ども向け事業を開催し、1 年通してどの世代の子どもにも音楽に触れられる機会を提供します。</u></p> <p>●未就学児対象「みんな集まれ！おんがくひろば」 (年間 6 回開催) 5-(1)-イ-(イ)を参照</p> <p>●春「子どもの日コンサート」 「ハマの JACK 金の卵」 夏「夏休みわくわく遊音地」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマの JACK ファミリーランド ・ジュニアコーラス大集合！ ・ハマの JACK 音楽ワークショップ ・金管楽器オルガンコンサート ・こどもオペラ教室 ・パイプオルガンを弾いてみよう！ ・ホールわくわく探検隊！ ・ハマの JACK in みなとみらい <p>「ヤングアメリカンズ」 「NHK 交響楽団奏者による吹奏楽クリニック」 秋「0 歳からのオルガンコンサート」 「心の教育ふれあいコンサート」 冬「子ども向けオペラ」</p> <p><u>(イ)単なる一過性のワークショップだけでな</u></p>	<p>[達成指標]</p> <p>□合計入場者数 40,000 人</p> <p>□顧客満足度 80%以上</p>

<p><u>く、ホールが育てるホール固有のジュニア演奏団体を持つ。</u></p> <p>●熱帯 JAZZ 楽団」公演で子どもビッグバンド (仮称) を共演させる</p> <p><u>(ウ)障がいのある子ども向けにオルガンワーク ショップを実施する</u></p> <p><u>(エ)音楽専科教員と連絡体制を整え、相互の信頼関係を強化する</u></p> <p>●「横浜みなとみらいホール Music Teachers Project」を現在のネットワークから発展的に立ち上げ、相互の情報交流のためにメール等を活用した定期的な情報発信をします</p>	<p><input type="checkbox"/>子どもビッグバンド 参加子ども数20人</p> <p><input type="checkbox"/>年間2回開催</p> <p>■年4回送信</p>
---	--

(5)音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>・多様なアウトリーチ等の研究をし、社会貢献する</p> <p>アコースティックな楽器をテーマとして、様々な楽器の多様なアウトリーチ事業を展開し、ノウハウを蓄積していきつつ、音楽に触れにくい地域の方々に音楽文化の魅力を直接伝え、地域への愛着を育てます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>(ア)小学校・障がい者施設をはじめとしてアウトリーチ事業に積極的に取り組みます。</u></p> <p>●小学校向けアウトリーチ事業</p> <p>●障がい者施設向けアウトリーチ事業</p> <p><u>(イ)障がいのある方へのサービス拡充に努めます。</u></p> <p>●一般層向け、これからの鑑賞者向けに入門用事業として定期的に行うコンサート(5-(1)-イ-(イ)参照)への障がいのある方の参加者数の向上</p> <p>●自主企画に障がい者割引料金の設定</p> <p>●視覚障がい者対象のオルガンワークショップ(5-(4)-(ウ)参照)</p> <p><u>(ウ)「街の音楽院」シリーズ等レクチャーコンサート</u></p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>3校</p> <p><input type="checkbox"/>1校</p> <p><input type="checkbox"/>障がいのある方の総参加者数 年間延べ70人</p> <p><input type="checkbox"/>80%以上</p> <p><input type="checkbox"/>2回開催</p> <p><input type="checkbox"/>総入場者数 250人</p>

●街の音楽院	<input type="checkbox"/> 3回開催
●その他のレクチャー(コンサート)等	<input type="checkbox"/> 3回開催

(6)ホールに蓄積された音楽情報やネットワーク、ノウハウを活かした市民の音楽活動支援

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p><u>ア 主催公演の記録化、ホール公演情報の整理</u> 主催公演の写真・映像・音声の記録化を実施していきます。記録化した情報の活用方法をwebでの発信を中心に検討していきます。</p> <p><u>イ 音楽情報や国内外の芸術家や機関とのネットワークを活用し、市民の音楽活動へのコーディネーター機能を発揮</u> 芸術家や諸機関とのネットワークを生かし、「街の音楽院」などの講演イベント企画の中で市民の音楽活動に資するような講演会を実施していきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 公演情報の整理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●主催公演の写真の記録を残します ●主催公演の映像の記録を可能な範囲で残します ●主催公演の音声の記録を可能な範囲で残します <p><u>イ コーディネーター機能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●街の音楽院や自主イベントにまつわる講演会で半数程度を市民音楽活動に役立つ内容にする。 5-(5)-(ウ)参照 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>写真記録 100% <input type="checkbox"/>映像記録 50% <input type="checkbox"/>音声記録 70% <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>3回

6 運営

(1)利用者ニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応して施設機能を最大限に発揮するための取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p><u>ア 柔軟に対応して、市民の創作活動・発表の場として広く認知されるよう取り組む</u> MMccでの周知活動を行ない、近隣企業就業者で音楽に親しむ層へのアプローチを実施します。</p> <p><u>イ クラシック音楽以外の公演を提供し、音楽を楽しむ層の拡大に取り組む</u> クラシック音楽に留まらない、多様な音楽公演にも場を提供します。</p> <p><u>ウ 来館者に心地よい適切な環境が提供され、日本を代表するコンサートホールに相応しいと感じられる、質の高いサービスを安定的に提供する</u> 利用者の満足度を高めるべく、利用者と直接意見を交わす場を設けてニーズを探ります。また、第一線でお客と接するレセプションの接客能力のブラッシュアップの為、年間を通じて研修を行います。</p>

[取組内容]	[達成指標]
<p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●音楽練習室やレセプションルーム等の内覧会 ●資料配布によるPR <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様なジャンルの音楽利用の誘致 <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者懇談会の実施 ●顧客・潜在顧客アンケートの実施 ●レセプションист研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新採用時研修 ・フォローアップ研修 ・チーフ研修 ・コーチャー研修 ・全体研修 ・避難訓練 ●予約システムの更新 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>1回開催 <input type="checkbox"/>年2回実施 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>クラシック以外の音楽利用：20公演以上 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>年1回実施 <input type="checkbox"/>年間120件回収 <input type="checkbox"/>レセプションист研修 <ul style="list-style-type: none"> ・4日間 ・採用後6ヶ月後1回 ・年1回実施 ・年1回実施 ・年1回実施 ・年2回以上実施 ■年度内完了

(2)日本を代表するとともに、市民にとって身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供するための取り組み

[目指す成果／アウトカム]
<p><u>ア 施設の貸出について、音楽専門ホールとしての特性を前提としつつ利用促進に取り組む</u></p> <p>レセプションルームのサロンコンサート等での単独利用など、大・小ホールに限らず、施設の利用促進を図ります。</p> <p><u>イ 利用者のニーズ、満足度等を把握し分析を行い、事業の企画や運営を改善する</u></p> <p>自主事業では、全事業でアンケートを実施し、鑑賞者・参加者のニーズを探ります。出演者・企画者等ともアンケートを共有しあうことで、お客様の声を次回以降の企画に生かします</p> <p>運営では、利用者懇談会やアンケートを実施し、利用者のニーズを探ります。また、お客様と第一線で接するレセプションистのマネージャーとのミーティングを定期的実施し、現場の声を共有してホール運営に活かします。</p> <p><u>ウ 施設見学の希望</u>に対しては、利用者の妨げとならないよう配慮のうえで、可能な限り対応する通常のホール利用下見の他、ホールの空き日を活用して、ホール利用を検討している団体・個人に向けてホールの見学及び基本事項をアドバイスするような「ホール利用下見会」を実施し、新規顧客を開拓します。</p>

エ ホールの発信性を高め、音楽文化の振興に寄与する商品を揃え、ショップ等で販売する
 来館者サービスの一環として、ショップでは「音楽のある生活を楽しむ」をコンセプトに様々なグッズを展開しています。今後は「ここでしか買えないもの」や気軽にお買い求めいただける商品ラインナップを更に充実させていきます。

オ 公演等に関する問い合わせや相談に応じ、当館公演等のチケットを販売する窓口を設けます

カ 主催者の求めに応じ、公演開催時には飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意する
 利用者サービスの一環として、専門業者に委託して、開場中のドリンクコーナーの営業を行います。また、公演の内容に応じたより効果的な営業形態について可能性を探ります。

キ 託児サービスを提供する

専門業者に委託して、公演中の託児サービスを実施します。また、外出しづらい子育て中の若年層が気軽に足を運ぶきっかけとなるよう、託児サービスの存在を周知し、委託業者にも協力を仰いで、託児サービスのニーズと効果を探ります。

[取組内容]

ア 利用促進

●コンサートでのレセプションルーム単独利用

●利用率

大ホール

小ホール

リハーサル室

レセプションルーム

音楽練習室

●公開リハーサル・ロビーコンサート実施

イ 満足度の高い運営

●全自主事業において、鑑賞者・参加者アンケートを全員配付します。

●レセプションリスト・マネージャーミーティングの実施

ウ 施設見学

●ホール利用を検討中の団体・個人向けの利用下見会

●通常のホール利用下見対応

エ ショップ販売

●新商品開発・既存の売れ筋商品のモデルチェ

[達成指標]

年 8 件

利用率

97% (ホールメンテナンス含む。*H23 実績 99%)、

98% (*H23 実績 97%)

49% (*H23 実績 45%)

24% (*H23 実績 24%)

78% (*H23 実績 73%)

各 3 回

平均顧客満足度 90%

年 10 回

年 2 回実施

年間 80 件対応

ホールオリジナルグッズ新規開発 1 点以上、

<p>ンジ</p> <p>●気軽に立ち寄れるショップづくり</p> <p>オ <u>問合せ相談・チケットセンター窓口</u></p> <p>●チケットの市民先行販売</p> <p>カ <u>ドリンクコーナー</u></p> <p>●営業形態の検討</p> <p>キ <u>託児サービス</u></p> <p>●HP等を活用した託児サービスの周知</p> <p>●託児サービス利用者向けアンケートの実施</p>	<p>売れ筋商品の新規開拓1点以上。</p> <p>■ショップ内のイメージチェンジ</p> <p>□3公演以上取扱い(貸館公演含む)</p> <p>■効率的かつ効果的営業形態の検討</p> <p>□年2回以上</p> <p>□年2回以上</p>
--	--

(3) プロモーションの充実

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>ア <u>適切な商圈・対象層の設定、媒体の選択を行い、効率的・戦略的プロモーションに取り組む</u></p> <p>開館15周年を迎える平成25年度は、ホール全体のプロモーションを強化し発信力を高めることによって、ホールの魅力を伝え、お客様との信頼関係を構築し、「共感」を軸としたブランドを形成します。</p> <p>イ <u>Webツールを活用し、施設案内や公演情報だけでなく利用者が必要とする様々な情報を見やすく提供する</u></p> <p>購買前行動に直結しており、低コストで機動性に優れたWEBサイトを中心としたオウンドメディアの充実を図ることにより、発信力を強化します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>ア <u>効率的・戦略的プロモーション</u></p> <p>●友の会会員増加策としてキャンペーン実施</p> <p>●市民優遇措置として先行販売実施</p> <p>●各媒体への関係強化・情報発信力アップ (再掲)●公開リハーサル・ロビーコンサート実施</p> <p>イ <u>WEBを活用した見やすい情報提供</u></p> <p>●冊子版コンサートカレンダー発行</p> <p>●ウェブサイトのサービスアップによるアクセス数アップ</p> <p>●メールマガジン発行</p> <p>●ツイッター展開</p> <p>●WEB上の読み物ページ</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□会員数2500名(*H23実績:2162名)</p> <p>□3公演(貸館公演含む)</p> <p>□媒体の情報掲載 月間70件 (H23実績:60件/月) (再掲)□各3回実施</p> <p>□4回発行</p> <p>□総ページアクセス数 月間23万件 (*H23実績:月平均22万件)</p> <p>□月2回発行</p> <p>□フォロワー数1500件(*H23実績:603件)</p> <p>□年4回掲載</p>

●チケットセンターWEBでのチケット販売強化	□チケット購買率 10%(*H24 から開始したサービスなのでH23実績なし)
------------------------	---

(4) 条例の遵守

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 休館日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●保守点検、定期整備のため、必要な休館日の設定 ●竣工15年を過ぎ、施設や設備改修に対応できるよう、次年度以降の休館日について、横浜市と協議を進めます。 <p><u>イ 開館時間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●条例および規則に基づく設定 ●ミュージア川崎の再開に伴って拡張受入してきた利用が通常に戻ることを受けて、営業時間内、利用コマ時間内での利用に戻して清掃・点検等の利用者サービスが回復できるよう、打合せ等でコーディネート力を発揮し、アドバイスをを行います。 <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●条例に基づいた適切な料金徴収 <p><u>エ 貸出業務</u></p> <p><u>オ 留意事項</u></p>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■貸出状況や施設機能維持に配慮し、休館日を設定します。 □年間28日の休館日を確保しつつ、10～12月のコンサートシーズンは月1日の休館日とし、柔軟に対応します。 ■条例に基づき、利用者の利用条件に配慮します。 ■条例に基づく適正な料金徴収を行いません。 ■減免利用に関するガイドラインの再整備。 ■利用者ニーズに配慮し、条例・規則に基づいた貸出を実施します。 ■撮影等の利用についても柔軟に対応します。 ■条例、規則に基づき、設置目的や利用者の安全等に配慮した貸出を実施します。
---	---

7 施設維持管理

(1) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全

[取組内容] <u>ア 適切な管理</u>	[達成指標]
--------------------------	--------

<p>●パイプオルガンやピアノの定期的メンテナンス実施</p>	<p><input type="checkbox"/>パイプオルガン 年 1回 <input type="checkbox"/>コンサートピアノ 年 1回 <input type="checkbox"/>練習室ピアノ 年 1 2回 <input type="checkbox"/>リハーサル室ピアノ 年 1回 <input type="checkbox"/>楽屋ピアノ 年 3回</p>
<p>●舞台・音響・照明の専門業者に舞台技術を委託</p> <p>●統括管理・設備管理・清掃管理を専門業者に委託</p> <p>●横浜市との連携による大規模修繕計画の策定</p> <p>●QSY や横浜市と連動した危機管理の実施</p> <p>●過失事故の防止</p>	<p>■東京舞台照明に委託 (第1期指定管理の共同事業体構成団体)</p> <p>■東急コミュニティーに委託 (第1期指定管理の共同事業体構成業者)</p> <p>■休館日設定の見直し、ビル管理システムの修繕計画、大規模修繕の提案および情報収集</p> <p>■要請に応じて、会議・対応等に参加</p> <p><input type="checkbox"/>過失事故0件</p>
<p><u>イ 施設維持管理業務</u></p>	
<p>●QSY 管理組合事務局会議、管理者打合せ等</p> <p>●設備関係の点検・定期整備業務</p> <p>●舞台関係の点検・定期整備業務 専門業者と打合せた年間計画に従って、着実に実施</p>	<p>■要請に応じて、都度参加</p> <p>■専門業者と打合せた年間計画に従って、着実に実施</p> <p><input type="checkbox"/>客席定期保守(大ホール) 年2回 (改修後1年未満のため、簡易点検)</p> <p><input type="checkbox"/>客席定期保守(小ホール) 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>舞台照明定期保守 年3回</p> <p><input type="checkbox"/>舞台音響定期保守 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>舞台機構定期保守 年3回</p> <p><input type="checkbox"/>年6回(概ね2カ月に1回)</p>
<p>●設備・舞台スタッフとの小破修繕会議</p>	
<p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p>	
<p>●法令等に基づき、適正な施設維持管理に努めます。空気環境測定・清掃等の仕様を定めて建築物衛生環境を維持管理します。</p>	<p><input type="checkbox"/>空気環境測定 年6回</p> <p><input type="checkbox"/>照度測定 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>ごみ分別によるリサイクル意識の推進 常時</p> <p><input type="checkbox"/>エコにつながる提案 年間1件以上</p>
<p><u>エ 保安警備業務</u></p>	
<p>●警備会社による効率的な保安警備を行ないます。</p>	<p>■専門業者に入札による業務委託</p>
<p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p>	
<p>●警備会社による管理を行い、利用者の安全を</p>	<p><input type="checkbox"/>駐車場・搬入口での過失事故0件</p>

<p>図ります。</p> <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●植栽の手入れを、統括管理業者を通じて専門業者に委託します ●植栽や屋上の劣化状況を把握し、横浜市と共有します ●劣化が進行しているウッドデッキの安全確認に配慮します <p><u>キ 防災等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●Q S Y防火防災管理協議会に参加 ●防災管理自主点検 ●防災設備点検 ●消防訓練・防災訓練 <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災マニュアル、危機管理マニュアル ●携帯電話および携帯メール情報を盛り込んだ緊急連絡網 <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気主任技術者 ●建築物環境衛生管理技術者 ●ボイラー技士(2級以上) ●甲種防火管理者及び防災管理者 <p><u>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●条例および規則に基づき、利用申請について審査し、適正な手続きを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> □植栽の手入れ 年5回 ■目視確認 随時 ■荒天後の安全確認を行います □会議参加 年2回(通常) □毎日 □年1回 □年2回以上 ■常備 ■常備 ■Q S Y管理組合の電気主任技術者を追認 ■統括管理業者に技術者を置く ■当館にはボイラー設備がないため、人員配置を見合わせ、不要な経費支出を削減する ■指定管理者の職員が資格を取得 ■都度
--	---

8 その他の業務

(1) 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設としての最適な管理運営の実現

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <p>●横浜市と指定管理者が一体となって業務品質の更なる向上に努めます。</p> <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <p>●政策経営協議会での協議に基づき、政策や社会情勢を反映したより効果的な年間業務計画を策定します。</p> <p><u>ウ 業務評価</u></p> <p>●PDCAサイクルを徹底し、各評価の結果を政策経営協議会等で検討。今後の運営に反映させます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□政策経営協議会の実施 年4回</p> <p>□年間業務計画・年間業務報告の情報公開 各1回</p> <p>■大規模修繕計画案の策定</p> <p>□自己評価・横浜市評価 年2回</p> <p>■指定管理者選定評価委員会による外部評価、業務視察・ヒアリングの実施</p>
--	--

(2) 収支計画

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 収入(収入向上及び外部資金導入の努力)</u></p> <p>●開館15周年を期にさらなる収入増加を図ります。</p> <p><u>イ 支出(適切な支出配分、コスト削減への努力)</u></p> <p>●新規事業経費、人的体制の整備、広報宣伝費の強化、施設や設備の点検・改修維持経費の確保を図るため、コスト削減を図ります。本年度は、残業時間を削減して人件費を押さえ、既存の取引を見直します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□企業協賛金収入 14,550千円 (23年度実績：13,793千円)</p> <p>□ショップ収入 前年度比3%増 (23年度実績：7,439千円)</p> <p>□事務室スタッフの残業時間 前年度比5%削減</p> <p>■既存取引の見直しを行い、定例的支出のコストカットを図る</p>
---	--

9 組織に関する業務の計画

(1) 組織について

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たな組織図及びグループ毎業務分担表作成 ● 組織内意思決定 <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業、運営、施設維持管理等施設全体を管理運営するために必要な人材と人員の確保し、より高い専門性を発揮できる組織づくりに努めます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 組織内での共有 □ 3回/月開催 <ul style="list-style-type: none"> ■ 各専門性に応じた適正な人員配置を行ないます。 ■ OJT や MBO により、以下の観点での人材育成に努めます。 <p>【求められる専門性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業；音楽事務所やアーティスト、市民団体等とのコミュニケーション能力及びコーディネート力。音楽事業の企画・立案力や音楽への専門的知識の保有。 ・ 管理；必要な法令や財団の例規を理解し、適切な対応が行なえる。対外調整力とコミュニケーション能力の保有。 <p>施設管理においては、建築物や設備・ビル管理についての基本的知識を保有。</p>
---	---

(2) 人材育成

<p>[取組内容]</p> <p>施設における組織力の向上のため、人材育成に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MBOによるOJTを積極的に実施し、人材育成のツールとして積極的に活用します。 ● ホール独自の研修としてレセプション研修、職員への個人情報研修、危機管理訓練を実施します ● 事務局研修への参加 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 人材育成ツールとして積極的に活用します。 ■ レセプション研修については6(1)ウ参照 ■ 積極的に参加させる体制を作ります。
---	---

10 留意事項

(1) 保険および損害賠償の取り扱い

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●施設賠償責任者保険、 動産総合保険 レジャーサービス費用保険について●事故対応	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■業務の基準に定められた内容で加入します。■事故発生時には必要な手続きをとり、適正な 取扱いをします。
---	--

(2) 法令の遵守と個人情報保護

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●公の施設の管理者として法令を遵守し、適正 な個人情報の取扱いを推進します。	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■コンプライアンス窓口を財団事務局に設置し ます。■個人情報取扱い説明会を新規採用者対象に都 度実施します。
--	---

(3) 情報公開

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●公の施設の管理者として、説明責任を果たす 視点から、情報公開に対し積極的に取組みま す。	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■情報公開窓口を財団事務局に設置します。
---	--

(4) 市および関係機関等との連絡調整

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●横浜市や関連機関との連絡を密にし、情報を 共有します。	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■事故・苦情等は、横浜市および財団事務局へ 速やかに都度報告します。
--	--

1 1 収支予算額について

収支予算書

(単位：円)

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	507,010,000	
利用料金収入	207,500,000	
事業収入	287,535,000	
助成金・協賛金	35,460,000	
その他収入	21,181,000	
合計	1,058,686,000	

支出		
人件費	211,390,000	
管理費	339,221,000	
事業費	411,950,000	
事務費	105,417,000	
合計	1,067,978,000	

収支計	▲9,292,000	
-----	------------	--

施設名：横浜みなとみらいホール

	開催時期	事業名	会場	事業内容	目標入場者数	主催・共催・ 後援・協賛等
1	4月	■横浜芸術アクション事業■ 井上道義指揮 サンクトペテルブルク交響楽団	大ホール	日本の人気指揮者である井上道義がロシアの代表的なオーケストラの一つであるサンクトペテルブルク交響楽団を指揮する。ロシアの作品を紹介。	1,300	主催
2	5月	■横浜芸術アクション事業■ ヒラリー・ハーン ヴァイオリンリサイタル	大ホール	横浜ではおなじみのアーティストとなった、ヒラリー・ハーンによるヴァイオリン・リサイタル。世界でもっとも注目されるヴァイオリニストであるヒラリー・ハーンが和ヴァイオリンの名曲の数々を披露。2011年の3月のリサイタルが震災により中止となり、その後初の日本リサイタル	1,400	主催
3	6月	■横浜芸術アクション事業■ 小曾根真&ゲイリー・パートン 〈パートン・ファイナルツアー〉	大ホール	日本を代表するピアニストとして人気絶頂の小曾根真と6回のグラミー賞を受賞するヴィヴラフォン奏者のゲイリー・パートンのデュオ・リサイタル	1,100	主催
4	9月	■横浜芸術アクション事業■ 本名徹次指揮 ベトナム国立交響楽団	大ホール	ベトナム国立交響楽団の日本ツアー。横浜・ハノイのパートナー都市連携事業の位置づけにする。次年度のオペラ事業での連携も踏まえ、アジアとの交流を図る。	1,000	主催
5	11月 3月	■横浜芸術アクション事業■ エリアフ・インバル/東京都交響楽団 マーラー・チクルス	大ホール	マーラー演奏では定評のある都響が、インバルと横浜で2年間にわたりマーラー交響曲全曲演奏会を開催。横浜みなとみらいホールとの協同企画	5,600	主催 共催：東京都交響楽団
6	11月	■横浜芸術アクション事業■ パーヴォ・ヤルヴィ オーケストラ・シリーズ バリ管弦楽団	大ホール	2011年の演奏が国内で高い評価を得たパーヴォとバリ管のコンビが、再び横浜に登場。2013年の日本の楽壇での注目公演となることは必至	1,400	主催
7	11月	■横浜芸術アクション事業■ 横浜市招待国際ピアノ特別演奏会	大・小ホール、他	世界に羽ばたく若手ピアニストをいち早く横浜で紹介するコンサート。通常小ホールでの公演であるが、25年度は、高関健指揮日本フィルハーモニー交響楽団との協演や過去に当事業で取り上げ今や世界的ピアニストとなったミシェル・ダルベルトの特別出演を予定。	1,000	主催
8	11月	■横浜芸術アクション事業■ パーヴォ・ヤルヴィ オーケストラ・シリーズ ドイツ・カンマーフィル「フィデリオ」演奏会形式上演	大ホール	世界の有名オペラ劇場で活躍する歌手をキャストに、パーヴォ・ヤルヴィがベートーヴェン・チクルスの集大成として、念願の「フィデリオ」を上演。ボン・ベートーヴェン音楽祭と共同制作した映像演出によるセミ・ステージ形式で横浜とボンのみで公演。2006年のベートーヴェン交響曲全曲演奏会は、国内での大きな話題をさらったが、次は世界に向けて発信する衝撃的な公演となる。	2,600	主催
9	1月	■横浜芸術アクション事業■ Yokohama Hands-on Opera Project 沼尻竜典 歌劇「竹取物語」	大ホール	Y hop! の事業として新作オペラを創造・発信する。題材は「竹取物語」、作曲家としても定評のある沼尻竜典が、子どもから大人まで楽しめるようなオペラ曲を作曲。将来アジアへの発信も狙う。	1,200	主催
10	2月	■横浜芸術アクション事業■ アラン・ギルバート指揮ニューヨーク・フィル バレンタインデー・コンサート	大ホール	音楽監督のアラン・ギルバートとニューヨーク・フィルが横浜だけで特別にバレンタイン・コンサートを開催。共演は小曾根真も予定。クラシックだけではなく、ポップスなどの軽快な音楽を演奏。	1,400	主催 共催 梶本音楽事務所
11	10月	■横浜芸術アクション事業■ BBC交響楽団	大ホール	BBC交響楽団はイギリスを代表する名門オーケストラでBBCプロムスの主要オーケストラとして世界的に有名。、チャイコフスキー国際コンクール優勝、横浜でのリサイタルコンサートも大好評であった神尾真由子がソリストとして出演。、	1,400	主催
12	11月	■横浜芸術アクション事業■熱帯JAZZ楽団 &アウトリーチ	大ホール、他	2010年度の横浜芸術アクション事業として、ラインナップを飾った、ラテンジャズビッグバンドの熱帯JAZZ楽団。2013年度はワークショップ(アウトリーチ)部分を拡大して、ジュニア・ビッグバンドを結成する。	1,000	主催

13	10月	■横浜芸術アクション事業■アンサンブル・ウィーン=ベルリン	小ホール	ウィーンとベルリンの主要オーケストラで活躍する管楽器奏者からなる木管五重奏団。ウィーンフィルやベルリンフィルで培ったアンサンブルの妙技は、日本国内ファンの人気が高い。木管五重奏曲の名曲を市民へ紹介。	350	主催
14	未定	■横浜芸術アクション事業■心の教育ふれあいコンサート	大ホール	市内の小学生が一度は横浜みなとみらいに来てオーケストラコンサートを聴く。その実現のために、市教育委員会と共催で、10日間20公演のオーケストラ鑑賞会を開催する。	35,000	主催 共催：横浜市教育委員会
15	8月	■横浜芸術アクション事業■【夏休み・みなとみらいわくわく遊音地2013】	全館	夏休みの1週間、ワークショップ、楽器体験、バックステージツアー、コンサートなど、様々な音楽体験企画を包括し、家族みんなが楽しめる音楽フェスティバルとして実施する。	—	主催
16	5月	●こども未来ミュージック・プログラム●横浜みなとみらい「こどもの日」コンサート	大ホール	毎年子どもの日に開催する子ども対象オーケストラコンサート。0歳から誰でも入れる回と就学以上からの回の2回にわたっての公演が好評。	3,300	主催
17	8月	●こども未来ミュージック・プログラム●パイプオルガン体験&コンサート【みなとみらいわくわく遊音地2013】	大ホール、他	夏休みの子どもを対象としたオルガン事業。オルガン体験コーナー、バックステージツアー、鑑賞公演と盛り沢山。	1,400	主催
18	8月	●こども未来ミュージック・プログラム●おやこオペラ教室【みなとみらいわくわく遊音地2013】	大ホール	子ども達を対象に、音楽への喚起を促す事業の一つとして位置付けられる。大ホールステージ上での観客、演奏者一体型の配置で、簡単なオペラを楽しむ機会ともなる。	500	主催
19	9月	●こども未来ミュージック・プログラム●0歳からのオルガン・コンサート	大ホール	乳児連れで安心して入れるパイプオルガンコンサート。オルガンだけではなく、子ども達にもなじみの歌を歌手の指導のもとにみんなで歌う。毎回申し込み多数の上、2回公演で対応。当日はエントランスに数百台のベビーカーが預けられる。	2,200	主催
20	未定	●こども未来ミュージック・プログラム●みんな集まれ♪おんがくひろば	大ホール	放課後の時間帯に、子ども達を集め、ミニコンサートや音楽体験を実施。客席を大ホールステージ上に作り、普段なかなか味わえない経験を与える。	1,200	主催
21	7月	●こども未来ミュージック・プログラム●NHK交響楽団奏者による吹奏楽クリニック	大ホール	夏は吹奏楽コンクールで大忙しの中高校生吹奏楽部員対象の課題曲クリニック。講師は吹奏楽指導の経験豊富なN響奏者。「NHK響横浜定期」の関連事業。	300	主催
22	6月	●こども未来ミュージック・プログラム●盲特別支援学校オルガンワークショップ	大ホール	視覚障がいのある子ども達に、パイプオルガンを体感してもらう。パイプオルガンの伴奏と一緒に歌を歌い、ホールの響きを感じてもらい、音楽する喜びを与える。	30	主催
23	8月	【みなとみらいわくわく遊音地2013】2013ジュニア・コーラス みんな集まれ！	大ホール	首都圏を中心としたジュニア・コーラスが毎年8月1日に「みなとみらい」に集合。澄んだ爽やかな歌声を市民に聴かせるとともに、お互いの交流を図る。	800	主催
24	8月	【みなとみらいわくわく遊音地2013】ハマのJACK in みなとみらい	全館	ハマのJACKとの協同企画。子どもを対象に音楽ワークショップを実施。ホールで音楽実験をしたり、楽器工作をしたり、様々なアプローチが子ども達の音楽への関心をそそる。	300	主催
25	5月 6月	ハマのJACK金のタマゴを探しています。	小ホール	若手演奏家集団「ハマのJACK」との協同企画。将来演奏家を目指す青少年からオーディションにより有望な人材を選出。一流の演奏家からなるオーケストラの伴奏で市民へ紹介。	250	主催
26	6月 11月	【ベートーヴェン：Vnソナタ全曲演奏】 ファイン・デュオⅢ・Ⅳ	小ホール	ヴァイオリニストの沼田園子とピアニストの夢沼明美による気鋭のデュオ。音響の良い小ホールの空間で、3年間にわたりベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタを全曲演奏。	600	主催 共催：カメラータ・トウキョウ

27	8月	ヤングアメリカンズ・ジャパンツアー 2013夏 IN 横浜	大ホール	アメリカのパフォーマーを目指す学生団体が来日、横浜で3日間子ども達を対象にパフォーマンスのワークショップ。最終日は大ホールで一緒に発表コンサートを開催。	1,400	主催 共催:NPO法人じぶん未来クラブ
28	2月	グレートアーティスト・シリーズ II 「伊福部昭」	大ホール	日本の楽壇に影響を与えた音楽家を紹介するシリーズ。シリーズ第2回めの25年度企画は、ゴジラなどの映画音楽の数々を残し、日本のオーケストラ作品の作曲家としてその偉大な軌跡を残した伊福部昭を取り上げる。	1,000	主催
29	12月	【ベートーヴェン:弦楽四重奏曲全曲演奏】 ヴェーラ弦楽四重奏団VI	小ホール	H19年、首都圏オーケストラ首席メンバーを中心に横浜みなとみらいホール小ホールで結成された弦楽四重奏団。8年がかりでベートーヴェンの弦楽四重奏曲を全曲演奏予定。	250	主催
30	2月 3月	Just Composed in Yokohama 2013	小ホール	新進気鋭の作曲家に新曲を委嘱発表。横浜から次代に繋ぐ音楽を発信していく。	200	主催
31	12月	横浜みなとみらいホール ジルヴェスター・コンサート2013-2014	大ホール	首都圏のオーケストラや演奏団体から、この日一夜だけのヴィルトゥオーゾ・オーケストラを結成。華やかなソリストを共演に、普段なかなか聴く機会のない、スペシャル・オケの重厚な響きで、新年を迎える至極のひとつとき。	1,850	主催
32	11月	NHK交響楽団2013横浜定期演奏会	大ホール	日本の代表的なオーケストラ、NHK交響楽団の横浜公演。東京公演のB定期と同内容で演奏。東京では完売必至の人気公演を市民のために誘致。	1,850	主催
33	4月 3月	みなとみらいクラシック・クルーズ(合計6公演)	大ホール	平日昼の時間に開催する約40分間のミニ・コンサート。低料金の入場料設定と名曲プログラムで、クラシックファンの獲得を狙う。	16,800	主催
34	4月 3月	オルガン1ドル・コンサート	大ホール	市民に気軽にパイプオルガンに親しんでもらうためのパイプオルガンコンサート。入場料は1ドルか100円。約40分間の演奏時間。	11,000	主催
35	12月	昭和音楽大学連携公演「メサイア」	大ホール	昭和音楽大学の演奏室との協同事業。毎年開催される「メサイア」公演予定。市民に若々しい音楽を紹介する。	1,000	主催 共催:昭和音楽大学
36	2月	第34回コーラル・フェスト	大小ホール	横浜市民による年に1度の市民合唱祭。市民からなる実行委員会へ企画運営の助言・サポート。	1,500	主催 共催:コーラルフェスト実行委員会
37	10月	オルガン・リサイタルシリーズ シネマ×パイプオルガン	大ホール	パイプオルガンとサイレントシネマのコラボレーション。他ホールからも注目され、これまでに3ホールで企画買取。	700	主催
38	2月	オルガン・リサイタルシリーズ	大ホール	当ホールの主催事業の1つの柱である、オルガン事業の核となる、リサイタル・シリーズ。日本のコンサートホールの拠点としてのネットワークで、国内外の実力者による、パイプオルガンの醍醐味が感じられるオルガン・リサイタルを開催。	1,000	主催
39	4月 3月	小ホール・オペラシリーズ	小ホール	池辺館長推奨、可能な限りシンプルな設定による低コストと高い芸術性で創り上げ、オペラファンの拡大を図る。	1,400	主催
40	10月	お屋のプレミアムコンサート「東京交響楽団 珠玉名曲コンサート」	大ホール	平日の昼に、本格的なオーケストラの名曲コンサート。新進気鋭の横浜のヴァイオリニスト、山根一仁をソリストに、平日マチネの顧客層の取込みを狙う。	1,000	主催

41	12月	クリスマス・コンサート	大ホール	世界的なトロンボーン奏者スローカーが結成したスローカートロンボーン四重奏団とパイプオルガンの饗宴。ポピュラー曲や宗教曲などで、クリスマスの雰囲気を出す。	1,200	主催
42	3月	三橋貴風プロデュース 邦楽コラボコンサート	大ホール	国内を代表する邦楽奏者:三橋貴風とロックミュージシャンデーモン閣下率いる黒船バンドとの異ジャンルコラボレーション・コンサート。	1,200	主催
43	未定	屋上庭園コンサート	6F中庭	ホールの他主催事業で見出した若手芸術家を起用。ホールではない施設内の空間を利用した癒しのコンサートを実施。	70	主催
44	未定	レセプションルーム・コンサート	レセプションルーム	市民プロデューサーが企画制作・運営する、実践事業。同時に市民利用の少ないレセプションルームの周知、販促へも繋げる。	210	主催
45	6月 3月	●みなとみらい街の音楽院●	レセプションルーム	音楽現場で活躍する人材を講師に、リアルタイムの音楽情報を市民に発信する音楽雑学講座を開設。市民のより深い音楽への喚起を促す。	150	主催
46	未定	アウトリーチ・コンサート	市内小学校、他	市内小学校へ若手芸術家を中心としたアウトリーチ・コンサートを実施。また、病院や他コミュニティなど一般を対象としたアウトリーチもおこなう。	—	主催
47	5月 3月	ホールオルガニスト・インターンシッププログラム	大ホールほか	国内唯一のホールオルガニスト養成プログラム。アナウンス研修など、きめ細かい分野にわたる内容を実施。	1	主催
48	未定	近隣アートプログラム	近隣地区	横浜美術館との専門館連携の一環。地域のコミュニティに向け、芸術コンテンツを提供し、社会への還元他、当財団の周知も兼ねる。	—	主催
49	未定	ロビーコンサート	ロビー	ロビー開放とホールプロモーション、更に他団体との連携のため実施。	—	主催
50	9月	避難訓練コンサート	大ホール	実際のコンサートに近い状況の中で訓練を行うことで、スタッフの危機管理能力の向上とより安全なホール運営をめざすとともに、参加する一般のお客様、出演者にも公共の場での非常時体験をとらして非常時での行動を考える機会とする。	800	主催